



12月16日(月)

忙しい師走も安全運転で 年末の交通安全県民運動合同啓発活動

年 末の交通安全県民運動期間中（12月12日～21日）の12月16日（月）、Aコープみぞくちの駐車場で、江府町と合同の街頭啓発活動が行われました。

年末の何かと忙しく感じる時期に合わせて行われた啓発活動には、伯耆町、江府町の交通安全指導員や小中学校の交通安全保護者の会、鳥取県交通安全協会日野川地区協会の会員、黒坂警察署員など約20人が参加し、国道181号からAコープみぞくちの駐車場内へ誘導されたドライパーに対し、リーフレットやペットボトルの水などを手渡ししながら、安全運転を呼びかけました。



▲忙しい年末も安全運転をお願いします

12月22日(日)

今シーズンの 安全・降雪を祈願 大山ますみず高原スキー場開き祭



ウ インタースポーツシーズンを迎えた柗水高原スキー場で12月22日（日）、スキー場開き祭が開催されました。

昨シーズンに引き続き、雪のないスキー場開きとなりましたが、安全祈願祭に出席した森安保町長ら関係者が今シーズンの営業中の安全と降雪を祈願しました。祈願祭の後あいさつした指定管理者のエムケイ開発株式会社河上代表取締役は、「スキー人口の減少など厳しい経営環境ではありますが、伯耆町を代表する観光施設としてしっかりとその役目を果たしていきたい」と話しました。

会場では冷えた体をいやす豚汁の振る舞いも行われ、出席者は今シーズンの安全と降雪を願っていました。



▲今シーズンの安全を祈願する関係者

1月12日(日)

災害のない町を願って 伯耆町消防出初式

新

春恒例の伯耆町消防出初式が1月12日（日）、伯耆町農村環境改善センターで開催されました。

式では、長年消防団員を務めた功績などをたたえ、大江國夫団長から団員へ表彰状が贈られたほか、鳥取県消防協会長表彰などの伝達が行われました。また、森安保町長のあいさつでは「消防団と行政など関係機関が連携し、災害のない伯耆町にしていきたい」と話があり、参加した団員は、防火防災の決意を新たにしました。

続いて、団員らは開団、分列行進のあと日野川土手に移動し、今年1年の地域の安心安全を願って、日野川に向かって一斉に放水しました。



▲無災害を願い決意を新たに



▲開団を受ける消防団